

17歳。山田かまち。

生きることを  
生きよう。

# KAMACHI かまち

監督：望月六郎

谷内伸也(Lead) 古屋敏多(Lead) 中土居宏宜(Lead) 鍵本輝(Lead)  
大沢あかね 姫野史子 清水昭博 山村美智  
石原良純 北見敏之 田口トモロヲ 奥田瑛二(友情出演) 風吹ジュン 檀ふみ

原作：山田千鶴子「かまちの海」(文藝春秋刊)

企画：佐藤秀明 プロデューサー：小澤俊晴/石井一良 脚本：渡辺千秋

音楽：遠藤浩二 音楽プロデューサー：ヘンリー石井 ラインプロデューサー：杉浦敬

撮影：今泉高亮(J.S.C.) 照明：白石成一 録音：北村峰晴 整音：堀内戦治 美術：尾関龍生


記録：甲斐哲子 編集：矢船陽介 技術監督：大橋豊 映像：さとうまなぶ

VFX：浅田伸 助監督：五十嵐昭徳 制作担当：梶川信幸 アシスタントプロデューサー：姉川佳弘

挿入歌：「ブリーズ・ミスター・ポストマン」BONNIE PINK / 「ツイスト・アンド・シャウト」アナム&マキ / 「嵐の日々」谷内伸也 鍵本輝

主題歌：「GET WILD LIFE」Lead (FLIGHT A&R)

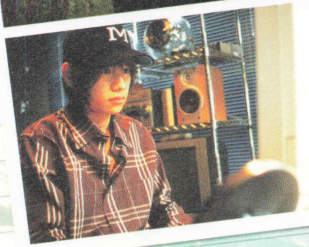
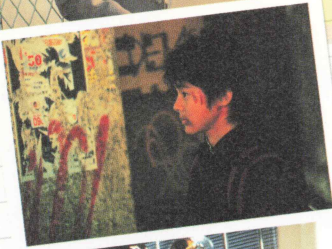
制作：プログレッシブ ピクチャーズ/ドリームワン 製作：「かまち」製作委員会

配給： 日本ヘラルド映画株式会社 ©2004 日本ヘラルド映画・プログレッシブ ピクチャーズ・IMAGICA・アドネス・ポニーキャニオン・産経新聞

Leadの最新情報をGET! 今すぐ<http://www.visionfactory.jp>にアクセス!!



# "1日が24時間じゃ足りない!" 山田かまち — たった17年の人生を駆け抜けた、あるエナジーの軌跡



1977年8月10日、ひとつの命が天に昇った。  
山田かまち。17歳。

2歳にもならないうちからスラスラと絵を描き、周りを驚かせ、  
小学校の低学年で、自作の詩を母親に語り始めたスゴいやつ!

音楽に目覚めた中学時代はビートルズやレッド・ツェッペリン、クイーンに熱中し、  
やがて恋を知って、その思いを詩に、絵に、音楽に、夢中で表現しまくった!

"1日が24時間じゃ足りないよ!"

それが彼の口癖だった。

山田かまち。スゴいやつ!

なのにたった17歳で、大好きなエレキギターに感電して逝ってしまった。

やりたいことをやり尽くすには、あまりに短すぎた生。

後に残ったのは1000枚を超える絵と、たくさんの詩。

やがて時が流れ、かまちに共鳴する若者たちが後から後から現れ始めた。

こうしてかまちは現象になった。

今、かまちの人生が初めてスクリーンに甦る。

詩が動く! 絵が踊る!

**BONNIE PINK (ボニーピンク)、アナム&マキ、そしてLead...**

**音楽が「かまち」の時代を蘇らせる!**

かまちは演じる谷内伸也 (Lead) のナチュラルな語りのにせて、流れるようにスクリーン上に現れる  
では消える詩の言葉。まるで実況中継するかのよう、少しずつ絵が完成へと近づいていく様子を  
再現したシーン。エナジーあふれるかまちの作品を、紙の上の芸術から動く芸術へと変換してみせ  
たこれらのシーンは、本作の大きな見どころだ。

またBONNIE PINK、アナム&マキといった、若者たちの支持を得ているホットなアーティストたち  
が、本作のために、かまちの愛してやまなかったビートルズの楽曲「プリーズ・ミスター・ポストマン」  
"ツイスト・アンド・シャウト"をカバー。一方、現代の場面では、望月六郎監督のアイデアでLeadが  
かまちの詩「嵐の日々」をラップで熱唱するという大胆な試みも行われた。もし、かまちは今生きて  
いたら、詩にどんな音楽をつけたのだろうか?  
そんなわくわくするような仮定から生まれた、遊び心たっぷりのシーンである。

**母・山田千鶴子さんも絶賛! かまちの人生を初めて映画化!**  
**かまちの時代と今を繋ぐ、時を超えた青春映画が誕生した!!**

かまちは残した膨大な作品は、美術館や展覧会で多くの人々を集め、書  
籍にもなり、朗読CDにもなっている。彼を特集した情報番組も作られた。  
だが、かまちの人生をドラマ化したのは、実はこの映画が初めてである。映  
画「かまち」は、恋をしたり、友情を育んだり、受験に悩んだりする、どこにで  
生きたとつづってゆく。だがこの作品はそれだけでは終わらない。後半、映画  
生きたとつづってゆく。だがこの作品はそれだけでは終わらない。後半、映画  
生きたとつづってゆく。だがこの作品はそれだけでは終わらない。後半、映画  
生きたとつづってゆく。だがこの作品はそれだけでは終わらない。後半、映画

「かまち」は生き続けているのか。  
かまちの時代を「かまち」とともに生きた若者たち、今という時代を「かまち」  
とともに生きようとする若者たち。その両者を同じ目線で捉えてみせた本作  
は、これまで映像化を断り続けてきたかまちの実母・山田千鶴子さんも絶賛  
する、時を超えた青春映画として「生」の一步を踏み出した。

2004年作品/カラー/ビスタサイズ/上映時間115分/DTS-SR



KAMACHI  
**かまち**

**3月ロードショー!**

特別前売鑑賞券 1500円好評発売中! (当日一般 1800円の処)  
\*劇場窓口にてお買上げの方にオリジナルポスターをプレゼント (限定数)

梅田スカイビル (空中庭園) タワーイースト4F

**梅田ガーデンシネマ**

06-6440-5977 www.cineplex.co.jp

各回入替制・途中入場はご遠慮ください  
毎土・日・水曜日、祝日および映画サービステイは混雑状況にかかわらず入場整理券を発行します

